

腹腔鏡補助下内視鏡的胃瘻造設術の適応についての後方視的検討

(論文名：Laparoscopic-assisted percutaneous endoscopic gastrostomy is recommended for older patients and patients with severe scoliosis)

1. 研究の目的

内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) は安全で簡便な手技として広く行われています。しかし、側弯などがあり、胃が肋骨に隠れてしまうような症例では実施が難しいです。当院では、そのような場合に腹腔鏡の補助を併用して PEG を行っています。過去の PEG および腹腔鏡補助下 PEG の症例を比較し、どのような症例に腹腔鏡補助が必要かを検討します。

2. 研究の方法

対象：2006年1月から2015年12月の間で、群馬県立小児医療センターでPEGおよび腹腔鏡補助下PEGの手術を受けられた方

方法：過去の診療記録、検査所見等をもとに調査を行います。

3. 情報の公表

研究結果は Journal of Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。

患者様の個人情報公表されることはありません。

4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 高澤慎也

住所：〒377377-8577 8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 779 番地

電話：02790279-52-3551